「総合学科の取組紹介」

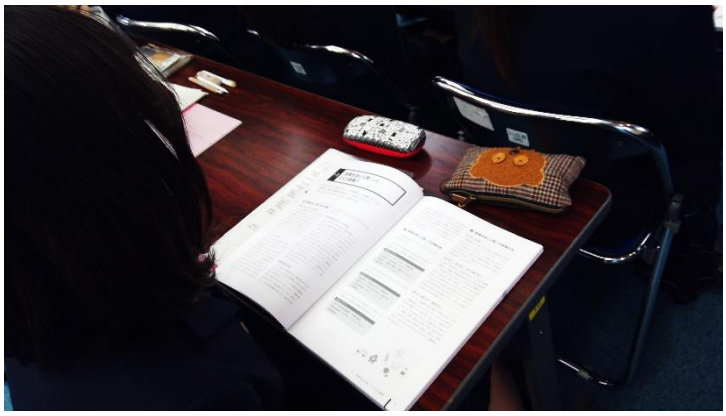
「産業社会と人間」４月 14 日活動紹介

１年生で「産業社会と人間」の授業が始まりました。

この授業は「総合学科設置校」において、1 年次に必ず開講される大切な授業です。

将来を見据えた先にある「なりたい自分」の自己実現に向けて自分自身の事を深く考え、自分を取り巻く社会生活や職業生活に必要な能力と態度を育成することを目的にしています。また、産業発展や変化の事象を理解して「自ら学び、自ら考え、自ら行動する力」を身に付けていける人材を育成していく授業でもあります。

初回の今日は、５時間目に総合学科 1 年次生徒 120 人全員が伊吹ホールに集い。総合学科部長の大野宏先生から、「産業社会と人間」全体のガイダンスや年間学習計画の紹介、そして第 1 回目講義の「産業社会と人間ってなんの授業？」を受講しました。



６ 時間目には各クラスで自主学習ノートを活用した一般常識問題学習を各自で行いました。

「産業社会と人間」での学びを機に、時代が変化しても 10 年後、20 年後先に大きく羽ばたける力を身に付けてくれることを期待しています。